



LAC Newsletter 国際教養コースだより No.5

Hyogo Prefectural Takarazuka Nishi Senior High School July 20th, 2022

高大連携 LAC 特別講座

7月19日(火)2時間目、神戸女学院大学から南出和余准教授が3-7に来てくださり、「私たちの服を作っているのは誰？」というテーマで講義をしてくださいました。先生のご専門は文化人類学、バングラデシュ地域研究。今日はバングラデシュのお話がメインでした。



「服を選ぶときの priority は？それが食べ物なら？」 記事を読んで気になった単語を付箋に書き出して



4つの項目に分けて、貼りました。



先生からさまざまな質問があり、改めて自分が年間どれくらいの服を買っているか、どこで買っているかを考えました。

「食べ物を選ぶときにはどこの国で作られているかを重視するのに、それが服を選ぶときや家を選ぶときにはあまり考えられていない。どうしてでしょうか。」

「日本の服の98%は他の国で作られています。日本産はたったの2%。中国、ベトナム、バングラデシュ、インドネシア、カンボジアで作られたものがほとんどですよね。しかもバングラデシュでは女性たちが本当に安い賃金で働いている。健康面、教育面、経済面、どの分野でもバングラデシュは成長してきているけれど、兵庫県の平均賃金が時給928円なのに対し、バングラデシュは48円。月給にすると月1万円です。みなさんが普段着ているその服は、厳しい条件のもとで働いている女性たちが作っているということを考えていただけたら」という先生のお話。私たちはどうしたらいいのか。答えを探していきましょう。